

友好大使レポート

2012年11月

氏名: マシュー・マイヤーさん

出身: アメリカ

委嘱: 平成24年7月

今年8月末に、アメリカ東海岸のニュージャージー州に戻りました。5年間越前市に住んだのちのアメリカ帰国なので、どんなに逆カルチャーショックがあるかと想像していましたが、思ったほどではありませんでした。たとえば、箸を使うかわりに、ナイフとフォークで食事することだったりとか、そのような小さなことです。ですが、何よりも、この体験を通して、今まで気づかなかった自分自身の文化について学ぶことができます。日本に初めて来日したとき、“わお！これが、日本というものか！”と驚きましたが、帰国した今は“わお！これが、アメリカというものか！”といったわけです。とても勉強になっています。

アメリカに帰ってからはしばらくは、まるで外国人のような気分で過ごしていました。そろそろ冬の到来を感じる季節になってきましたので、こたつでの鍋パーティが恋しいです。きっと福井は今頃、越前ガニの旬の時期ですね。この時期に毎年恒例で訪れていた東尋坊を思い出します。そこでは冬の風景とにおいが感じられ、今も心に残っています。こうして、福井を思い出すと懐かしくなりますが、ここアメリカでも楽しいことがあるんですよ。11月の終わりはサンクスギビングです。ターキーとスタッフィング(詰め物)とマッシュポテトやグレービーソース、クランベリーソースが楽しみでなりません。今年の年末は、紅白歌合戦を見て初詣に行く代わりに、クリスマスソングを歌い、友達と New Year パーティを盛大に行い、年越しをカウントダウンします。

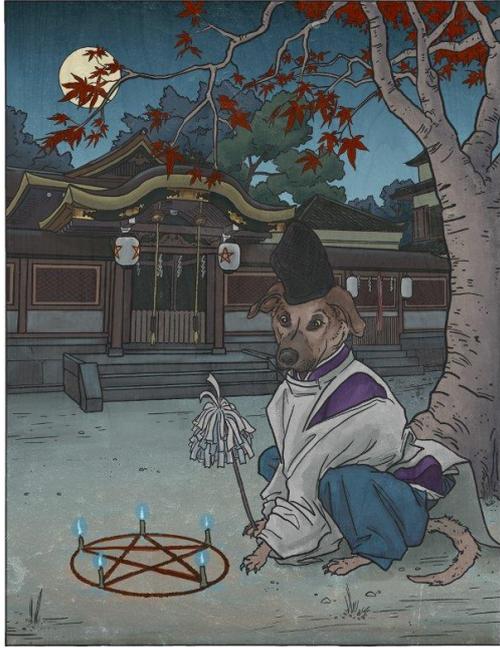
私は、イラストレーターですから、その意味での変化はなく、この秋もいつもどおり、絵を描いて過ごしました。10月には、「1日1妖怪」の日課を続け、日本の古いお話を翻訳し自分のホームページで紹介しました。今年描いた作品をいくつか紹介します。



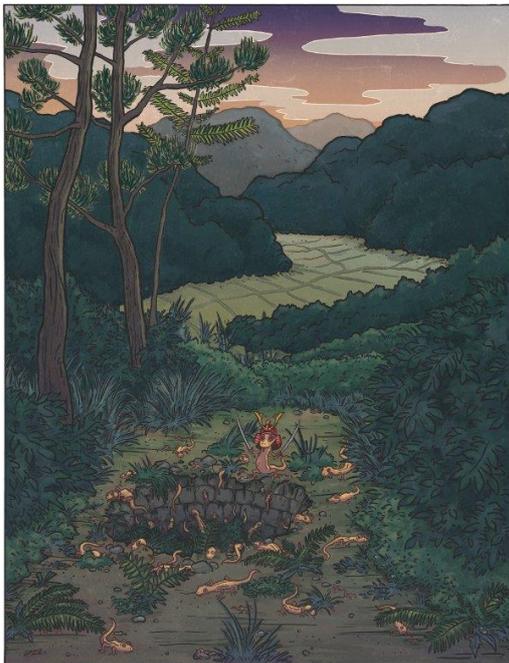
- もみじ 歌舞伎に出てくる有名な妖怪



- ぬりかべ 夜、通行する人を邪魔する不思議な壁



- いぬがみ 主人に忠誠を尽くす犬の神様



また、南越前町に古くから伝わる、武士の霊にとりつくイモリの話も翻訳して描きました。

毎日新しい絵を描くのは、とても忙しいのですが、こうして日本、そして福井とずっとつながることができて、とても楽しく描いています。